

920MHz帯テレメータ無線設備の評価試験に!!

MS2830A シグナルアナライザ

9kHz ~ 3.6/6.0GHz

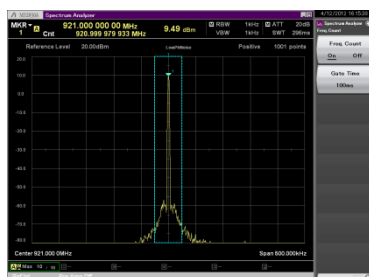


今、HEMSやBEMSとスマートメータのインターフェースのひとつとして、920MHz帯特定小電力無線機器が注目されています。MS2830Aシグナルアナライザは、これらのお客様のニーズに合わせ、技適試験(TELEC-T245等)に必要なシンプルな送信試験用途のスペクトラムアナライザから、送信制御機能評価を行うキャリアセンス信号試験発生まで、1台で対応することができます。

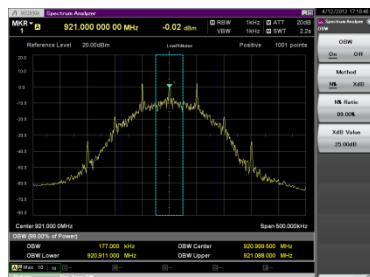
☆ ARIB T108(TELEC-T245)への対応

1. [標準構成] 主な送信評価項目をカバー。製造・出荷検査用途に適した基本構成

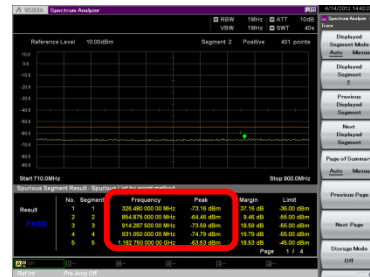
MS2830Aの標準構成で、ARIB T108(TELEC-T245)の送信評価項目をカバー。しかも、技術適合試験で採用されているゼロスパンによる周波数追い込みスプリアス測定も標準搭載しています。アンリツのシグナルアナライザならではの操作性を是非お試しください。



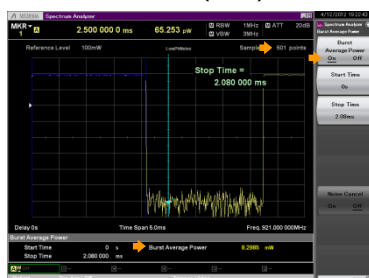
周波数偏差(無変調)



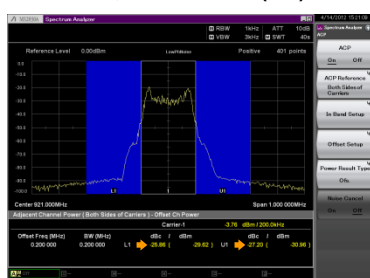
占有帯域幅 & 周波数偏差(変調)



スプリアス



空中線電力(平均電力)



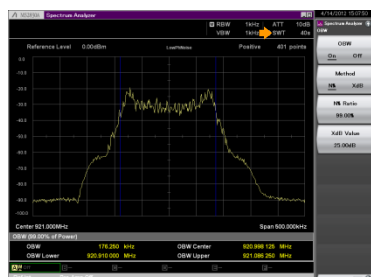
隣接チャネル漏洩電力



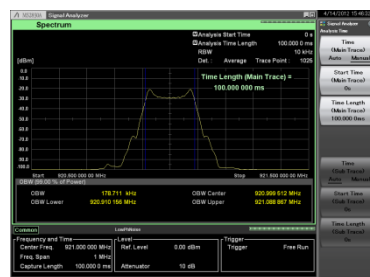
送信時間制限装置

2. [拡張1] FFT機能と変調解析機能を追加。高速性への追求, 変調状態での評価に

バースト信号の評価の際、掃引タイプのスペクトラムアナライザでは、測定時間を必要とする項目があります。このような場合、FFTタイプのスペクトラムアナライザが製造ラインでの測定時間を削減します。^{*1} また変調状態のままDUT評価を行うには、デジタル変調解析ソフトが効果的で、Zigbeeなどの変調方式にも対応しております。



掃引タイプ: 1掃引で40sec かかります。



FFTタイプ: 約200msで測定完了!!



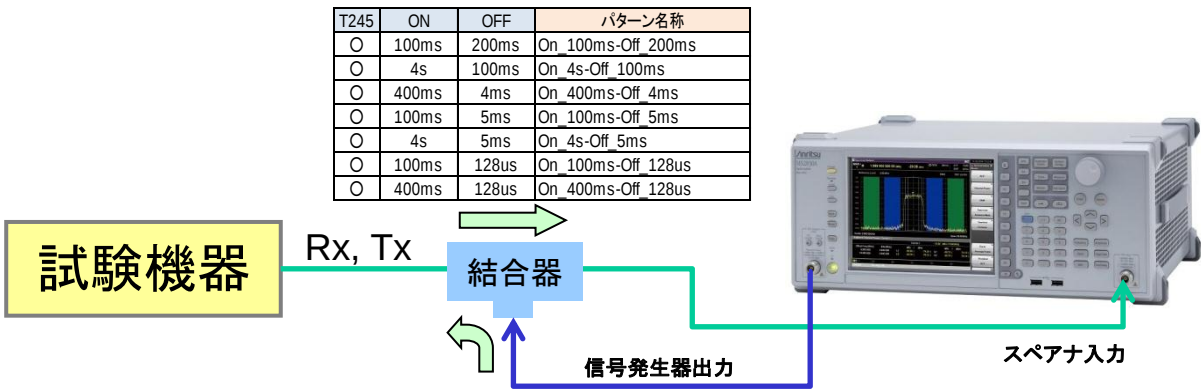
変調解析ソフト結果

200倍 高速!

^{*1}: 技適試験に準拠させるには、掃引タイプを採用する必要があります。

3. [拡張2] 信号発生機能を搭載, 受信評価, キャリアセンス評価に

MS2830Aには、信号発生器を内蔵できますので、受信感度試験の希望波を出力したり、キャリアセンス評価に必要なパルス信号も出力できます。製造試験はもちろん、開発用途にも使用いただける製品構成にグレードアップすることが出来ます。



他にも、MS2830Aシグナルアナライザには、こんな魅力的な機能を搭載しています・・・

信号のキャプチャ機能も搭載。(拡張1) シグナルアナライザ機能を用いてある時間軸でのスペクトラム波形の観測が可能となり、ランダムに発生する不具合対策に効果を発揮します。

キャプチャした波形を信号発生器のデータに変換し出力することが出来ます。問題発生環境の再現やゴールドユニット信号の再生など、幅広い分野にて問題解決の効率改善に効果を発揮します！！

本リーフレットに掲載された機能を自動制御可能な無償PCソフトウェアをご用意しております。お気軽にお問い合わせください。

[TELEC試験項目対応表(T245の例)]

試験項目	標準構成	拡張1	拡張1 + 拡張2
1. 周波数の偏差	◎	◎ スピードアップ	◎ スピードアップ
2. 占有周波数帯幅	◎	◎ スピードアップ	◎ スピードアップ
3. スプリアス発射又は不要発射の強度	◎	◎	◎
4. 空中線電力の偏差	◎	◎	◎
5. 隣接チャネル漏洩電力	◎	◎ スピードアップ	◎ スピードアップ
6. 副次的に発する電波等の限度	◎	◎	◎
7. 送信時間制限装置	◎	◎	◎
8. キャリアセンス機能	-	-	◎
9. スペクトラムマスク	◎	◎	◎

オーダリングインフォメーション (推奨構成)

No	型名	品名	備考
標準構成			スペクトラムアナライザ機能を用いた試験に対応
①	MS2830A-040	3.6GHzシグナルアナライザ	周波数範囲: 9kHz~3.6GHz,5次のスプリアス測定には、opt041(上限6GHz)を推奨。
②	MS2830A-002	高安定基準発振器	2x10 ⁻⁸ (温度安定度)
拡張1			デジタル変調解析やスペアナを用いた評価のタクトタイム改善に。
③	MS2830A-006	解析帯域幅10MHz	MX269017A 変調解析ソフトやFFTを用いた高速測定に必要。
④	MX269017A	ベクトル変調解析ソフト	変調状態での周波数・レベル測定やEVM測定に必要。
拡張2			受信系評価やキャリアセンス機能確認のために。
⑤	MS2830A-020	3.6GHzベクトル信号発生器	受信評価の希望波、キャリアセンス評価の信号源として必要。
⑥	MS2830A-022	ベクトル信号発生器用ローパワー拡張	出力レベル下限を-40dBm→ -136dBmまで拡張。
⑦	MX269902A	TDMA IQproducer	デジタル変調信号発生(希望波、キャリアセンス信号)に必要。
その他			
⑧	MA24106A	USBパワーセンサ	50MHz~6GHz、パワーセンサによる電力測定時に必要

本資料は、記載内容をおことわりなしに一部変更する場合があります。